



・全国介護事業者連盟ホームページ

- ・2024年9月18日「DXなんでも相談窓口」をホームページに設置し、介護・障害福祉業界のDX促進をスタートいたしました。

・介護チャンネル 全国介護事業者連盟公式チャンネルに是非ご登録をお願いいたします。

・全国介護事業者連盟公式 Facebook ページ

- ・全国介護事業者連盟公式X (旧 twitter)

・全国介護事業者連盟公式 instagram

・本内容に関するお問い合わせ、およびメールマガジン配信先の追加（法人幹部、各事業所の管理者や職員などのメールアドレス）を希望される場合こちらまでお願いします。

/// // // // // ★目次★ ☆彡 /// // // // //

・全国介護事業者連盟からのお知らせ

・厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

・介護・障害福祉ニュース



山梨県支部長挨拶

このたび、全国介護事業者連盟 山梨県支部 支部長を拝命いたしました、中込俊太と申します。

私は作業療法士として、回復期から在宅まで幅広い現場で、利用者の「その人らしい生活」を取り戻す支援を続けてまいりました。日々の小さな前進が、生きる力や尊厳へとつながっていくことを、現場の中で強く実感してきました。

そうした経験から、医療・介護・福祉が分断されるのではなく、地域全体で生活を支える仕組みが必要だと考え、その思いを形にする場として、多職種が対話しながら実践を積み重ねるフルリールグループの体制づくりに取り組んできました。フルリールグループでは、山梨県北杜市を創業の地とし、韮崎市・甲斐市・甲府市を中心に、医療法人・社会福祉法人・株式会社でグループを構成し、10 事業所 25 サービスを展開しています。地域で暮らす方々が「自分らしく生きる」ことを支えるため、医療と介護が連携しながら、日々の支援に取り組んでいます。

また、現場の業務効率化と働きやすい職場づくりを目的に DX 化を推進し、記録の電子化や情報共有の標準化を進めています。さらにリハビリテーションの分野では、AI 解析や最先端機器の活用により、「科学的根拠に基づく支援」と「その人の想いに寄り添う関わり」の両立を図っています。

山梨県支部としては、地域の介護事業者の皆様とともに、情報共有や意見交換を通じて、つながりや学びの場を少しずつ広げていきたいと考えております。現場で生まれる声や工夫を丁寧に受け止めながら、必要に応じて制度にも届けられるよう、支部としてできることから取り組んでまいります。

介護が、働く人や利用する人にとっても、安心と希望になるよう、共に歩んでいければ幸いです。

今後とも、ご支援とお力添えをいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

中込 俊太（なかごみ しゅんた）

医療法人燦生会 理事

医療法人健栄会 常務理事

一般社団法人全国介護事業者連盟 北関東・甲信越ブロック支部 ブロック幹事

一般社団法人全国介護事業者連盟 山梨県支部 支部長

◆上野賢一郎 厚生労働大臣に『介護分野の物価高・賃金対応及び介護保険制度改正に係る要望事項』について提出いたしました（2025 年 11 月 6 日）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/11/youbou20251106.pdf>

◆自由民主党政務調査会 鬼木誠 厚生労働部会長に『介護分野の物価高・賃金対応及び介護保険制度改正に係る要望事項』について提出いたしました（2025 年 11 月 6 日）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/11/youbou20251106-2.pdf>

◆全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会大阪府支部 主催『ドクちゃん上映会&交流会』を開催いたします (2025 年 11 月 27 日)

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/11/oosakaevent2025.11.27.pdf>

◆『全国介護事業者連盟 石川県支部セミナー&東海・北陸ブロック支部 事業者交流会』を開催いたします (2025 年 12 月 5 日)

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/ishikawa20251205.pdf>

◆「障害福祉事業部会 島根県支部 設立総会および全国介護事業者連盟 島根県支部 年次総会」を開催いたします (2026 年 3 月 13 日)

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2025/shimane260313/>

【全国介護事業者連盟動向】

10月27日 埼玉県支部 幹事会の開催 (埼玉県 オンライン)

10月28日 新潟県支部 幹事会の開催 (オンライン)

10月29日 障害福祉事業部会兵庫県支部 幹事会の開催 (兵庫県 オンライン)

10月30日 長野県支部 幹事会の開催 (オンライン)

10月30日 自由民主党『医療介護福祉保育職等の人材の円滑な確保を考える議員連盟』第16回総会にて理事長が意見提言 (東京都)

10月31日 厚生労働省『有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会 (第7回)』に事務局長が出席 (東京都)

11月 1日 第59回常任理事会の開催 (オンライン)

11月 6日 東京都支部 幹事会の開催 (東京都)

11月 6日 広島県支部・障害福祉事業部会広島県支部 幹事会の開催 (広島県)

11月 7日 第4回大会運営・実行委員会の開催 (オンライン)



■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

第128回社会保障審議会介護保険部会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_65728.html

社会保障審議会障害者部会 (第152回) 資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_65750.html

財政制度分科会資料

https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/material/20251105zaiseia.html

有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会 (第7回) 資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_65547.html

第127回社会保障審議会介護保険部会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_65232.html

有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会（第6回）議事録

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=q0hR-v5KpeMpHVc5Y>

「人口動態統計月報（概数）」令和7年6月分

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=M9DPPITcQ8rxRimhY>



介護・障害福祉ニュース

障害児サービス、地域差の捉え方提案 底上げ必要の意見も〈こども家庭庁〉

<https://fukushishimbun.com/series06/43214>

就労系障害サービス指定、指導の指針案 適切な事業運営を確保〈厚労省〉

<https://fukushishimbun.com/series06/43196>

財務省、医療・介護の構造転換を要請 「より少ない労働投入量で質の高いサービスを」

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41547/>

高市首相「医療・介護の公定価格を引き上げる」 衆院本会議で明言

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41524/>

上野厚労相、介護サービスの応能負担は「必要」 次期改正の焦点 年末に結論

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41476/>

老人ホームの「囲い込み」、サービス利用の誘導や強要を規制 厚労省 対策強化案

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41455/>

主任ケアマネの役割、法令上明確化へ 厚労省提案 キャリア向上の環境整備も検討

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41432/>

カスハラ対策、すべての介護事業者に義務付け 厚労省方針 各サービスの運営基準など改正へ

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41396/>

厚労省、ケアマネ資格の更新制廃止の方針を固める 来年に法改正へ 施行時期は「未定」

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41385/>

ケアマネの資格取得要件、実務経験を5年→3年に 厚労省 対象資格の拡大も提案へ

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41358/>

ケアマネ資格の更新制を廃止 厚労省 更新研修の義務付け終了を審議会に提案へ

<https://www.joint-kaigo.com/articles/41350/>



賛助会員広告【株式会社ワイズマン】



《熱気再び。HCR2025 オンラインブースでワイズマン AI 製品を体感！》

株式会社ワイズマンが出展中の『H. C. R. 2025 バーチャルブース』は11月28日(金)までの期間限定公開です。

展示会では、AI を搭載した最新の介護ソフトや各種サービスを動画やコメントでわかりやすくご紹介。10月のH. C. R. 2025にご来場いただけなかった方も、オンラインでじっくりご覧いただけます。

公開期間は残りわずか！

ぜひお早めにアクセスください。

▼バーチャルブースお申し込みはこちら

<https://www.wiseman.co.jp/hcr2025-virtualbooth-apply/>



編集後記

非正規介護職が請求業務を一部担当「お金に対する意識」の強化がサービス向上にも

ある介護事業会社では、パートの介護スタッフにも介護報酬請求業務の一部を担当させています。会社には正規の事務・経理職がいますので、請求業務は介護スタッフの仕事ではありません。

社長は、敢えてそれをさせる理由について「自分の日々の業務がどのような形で会社の収入になるかを知ることが、結果的にサービス向上につながる」と語ります。請求業務を知れば、自然に介護保険制度や介護報酬にも関心を持ちます。「デイサービスを黒字にするためには、自分は何をするべきか」など、自ら考え行動するようになるそうです。

介護現場では、「お金のことを考えてはいけない」という意識が強くあります。その考えも大事ですが、そのことで仕事が非効率になったり、採算がとれない業務に多くの時間を費やしていないでしょうか。

「利用者が一番困るのはサービスが停止すること。まずは事業の継続性を確保する」という意識・行動が、現場を含めた法人全体に必要です。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

※2025年2月1日より、下記住所に移転いたしました

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-1 麹町富士ビル5階

TEL : 03-5215-5063 FAX : 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp